

『VIEW next』高校版・2024年度「発問・課題設定をキーに見る 主体的・対話的で深い学び 授業実践」授業デザインシート

【教科・科目】	国語科・現代の国語
【分野・単元】	筆者の主張を捉え、論の展開を把握する。
【テーマ・作品】	平野啓一郎『「本当の自分」幻想』
【設定時数】	6
【単元の目標】	論の展開を把握して、筆者の主張を捉えて深めよう。

時数	学習内容	自校の生徒の特性を踏まえた各時間における教育目標 (身につけさせたい資質・能力)	左記の資質・能力の「学力の3要素」への分類	授業の大まかな流れ	授業における3つの視点の学びに対する指導内容・教師の配慮			育成を目指す資質・能力の評価方法
					主体的な学び	対話的な学び (教師による場づくりへの配慮)	深い学び (教師による思考の活性化・深化への配慮)	
1	・自己と他者の関わりを認識する。 ・本文を通読する。	・内容が分からなくても本文を読み抜く力を養う。	知識、技能、主体性	・単元のガイダンス ・マインドマップによる他者認識 ・漢字の読みの確認 ・本文の通読、振り返り	・ガイダンスの中で学習の見通しを持たせ、単元の学習後のイメージをさせる。	・ペアワークで積極的に話させる。(簡単な単発の質問を複数回行う。) ・間違えてよい雰囲気醸成する。		・振り返りシート(主体的に学習に取り組む態度)
2	・主張と論理展開を捉える① (論理展開図の作成:個人)	・内容が分からなくても、筆者の主張を捉えようとする思考力や表現力を養う。	思考力、判断力、表現力、協働性	・本文の通読及び論理展開図の作成(個人)		・本文との対話を行う時間を確保する。思考の妨げになるような声掛けを控える。	・行き詰まっている生徒へのアドバイス。答えは言わない。	・パフォーマンス課題の評価(思考・判断・表現)
3	・主張と論理展開を捉える② (論理展開図の作成:グループ)	・自分の考えだけでなく、他者から学ぶ協働性を養う。	思考力、判断力、表現力、協働性	・前時の振り返り ・本文の通読及び論理展開図の作成(個人・グループ) ・振り返り		・本文との対話を行う時間を確保する。思考の妨げになるような声掛けを控える。	・行き詰まっている生徒へのアドバイス。答えは言わない。	・パフォーマンス課題の評価(思考・判断・表現)
4	・主張と論理展開を捉える③ (論理展開図の発表/共有/補足説明)	・他のグループからの気づきを自分のモノにする力を養う。	多様性、協働性	・前時の振り返り ・本文の通読及び論理展開図の作成発表(グループ) ・振り返り	・個人/グループ活動の振り返りを行い、次回の授業にどう生かすかを考えさせる。		・他のグループから学べることを意識させる。	・パフォーマンス課題の評価(思考・判断・表現)
5	・主張と論理展開を捉える④ (他者の存在について考える) ・単元の振り返り	・筆者の主張を捉え、その主張をさらに深化させる思考力を養う。	思考力、判断力、表現力、主体性	・前時の振り返り ・他者の存在について他の文章をもとに考える課題 ・単元の振り返り	・個人/グループ活動の振り返りを行い、次回の授業にどう生かすかを考えさせる。	・本文との対話を行う時間を確保する。思考の妨げになるような声掛けを控える。		・パフォーマンス課題の評価(思考・判断・表現) ・振り返りシート(主体的に学習に取り組む態度)
6	・単元の振り返り ・振り返りシートのフィードバック ・内容の補足説明	・単元を通して学んだことと次に生かすべきことを確認する。	思考力、判断力、表現力、主体性	・単元の振り返りのフィードバック ・内容の振り返り ・補足説明	・単元の振り返りつつ、授業を通しての学びや気づき、疑問を振り返らせる。		・より良く考えることを考えさせる。	・振り返りシート(主体的に学習に取り組む態度)